

「会員増強」強化月間スタート

皆さまの一人一人へのお声かけから

今年度も会員増強運動の強化月間が始まりました。会員増強とは、ただ単に会員が入会して増えるというだけでなく、会員同士の交流の輪がひとつ広がり、将来の法人会の発展に大きく貢献するものだと私は考えています。皆さま一人一人の小さなお声かけが、足立法人会はもちろんのこと、法人会という大きな全国組織に寄与していくのが増強活動です。



本田委員長

ご近所の方やお知り合いの方で、加入されていない会社様、個人事業主様がいらっしゃいましたら、何かのタイミングの際で構いませんので、足立法人会への入会を勧奨いただけますと幸いです。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(組織委員長 本田 順一)

支部別目標数

支部	法人数	非会員	会員数	目標数
1	725	516	209	10
2	652	454	198	10
3	814	544	270	10
4	560	407	153	10
5	384	284	100	10
6	771	548	223	10
7	710	556	154	10
8	578	417	161	10
9	314	202	112	10
10	673	486	187	10
11	910	680	230	10
12	847	647	200	10
13	683	453	230	10
合計	8,621	6,194	2,427	130

詳しくは法人会事務局まで
電話 03(3881)0326

第41回 法人会全国大会 高知大会への参加

公益財団法人全国法人会総連合(斎藤 保会長)主催による第41回法人会全国大会が、10月16日(木)高知県の高知県立県民文化ホールにて開催され、当会は鈴木会長、相臺税制委員長を中心に8名で参加いたしました。大会では、令和8年度税制改正に関するスローガンや提言内容の報告、優秀な実績を残した単位会への表彰や青年部会による租税教育・健康経営活動の事例発表など、全国各地から集まった法人会が最新の活動情報を共有できるとても有意義な時間でした。

最後に、次年度の第42回大会が茨城県水戸市にて開催される事が発表され、高知大会は盛会のうちに閉会いたしました。

(参加8名 事務局長 橋浦 亮)



▲斎藤会長

◀集合写真

令和7年度税制改正スローガン

- 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要将来世代にツケを回さない仕組み作りを!
- 「金利のある世界」への回帰を踏まえ、金融市場の動揺を招かない財政運営を!
- 企業への過度な社会保障料負担を抑制し、中小企業の活性化に資する税制措置を!
- 本格的な事業承継税制を確立し、地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ!

厚生委員会 大阪・関西万博視察研修会

9月25日・26日に厚生委員会主催の大阪・関西万博視察研修会を実施いたしました。

初日は、大阪城天守閣や道頓堀を見学して、万博会場への直通シャトル船が出ている堺市のホテルに宿泊。翌日は船上から大屋根リングを眺めつつ、西ゲートから会場入りしました。

会場内は駆け込み需要の効果もあり来場者21万人を超える大盛況ぶりで、パビリオンやグッズ売り場はどこもかしこも大行列。団体見学できたのは、予約が取れていたスイスパビリオンと三菱未来館だけでしたが、2か所の館内見学と大屋根リングを歩いて、万博の活気を直接感じただけでも開催した意義があったように思いました。

厚生委員会では、来年3月下旬に沖縄研修旅行第3弾として宮古島2泊3日研修会を開催いた



スイスパビリオンにて



します。詳細は、本誌に同封している案内チラシをご参照ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

(参加19名 厚生委員長 三浦 啓行)

足立税務署からのお知らせ

税を考える週間

～これからの社会に向かって～

11月11日～11月17日

未来をつくる、あなたの税。

進めています、税のデジタル化

税務行政のデジタル・トランスフォーメーション

税務手続のデジタル化

- マイナポータル連携で
年末調整・確定申告
- オンラインで
納税証明書

業務のデジタル化

- キャッシュレスで
納付
- チャットボットで
相談

国 税 庁

https://www.nta.go.jp

法人番号 7300012050002

都税事務所からのお知らせ

都税は、来所せずにお手続ができます!
◆ご自宅等からお手続が可能です!ぜひご利用ください!◆

<h3>申告</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 電子申告 ・eLTAX ・LoGo フォーム ✓ 郵送(所管事務所 宛) 	<h3>申請・届出</h3> <p>(一部の手続を除く。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 電子申請・届出 ・eLTAX ・LoGo フォーム ✓ 郵送(所管事務所 宛)
<h3>納 付</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートフォン決済アプリ ✓ ペイジー (インターネットバンキング・モバイルバンキング・ATM) ✓ クレジットカード納付 ✓ eLTAX 電子納税 ✓ 口座振替 	<h3>証明書等の取得</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 郵送 〒112-8787 文京区春日1-16-21 都税証明郵送受付センター ✓ 電子申請 <p>都税証明 電子申請 検索</p>

※各種サービスのご利用条件・方法等の詳細は、
東京都主税局ホームページをご覧ください。

主税局 HP



支部会員紹介

第4支部 足立1～4丁目
中央本町1～5丁目

す み た て く て ん
(有)驚見建具店

驚見 憲一 代表取締役社長

1924年6月に初代社長驚見市太の個人経営により驚見商店を東京都足立区千住にて創業、1953年4月に業務発展に伴い有限会社に改組、有限会社驚見建具店を設立しました。

1964年3代目の時に東京オリンピックの区画整理に伴い、現在の足立区足立に移転し、私は2003年6月に4代目社長に就任しました。

業務内容としては、ビル用及び住宅用アルミ建具・板硝子・木製建具・ドア・笠木手すり・内装クロス・造作家具の販売及び施工を行っております。近年では、お客様のご要望もあり、リフォーム工事の対応も可能になりました。

施工主は法人・個人半分程の割合で、区内住区センターのサッシ工事から個人宅の木製門戸工事まで多岐にわたりご依頼いただいております。

実績について



弊社の強みとしては、ご依頼があればすぐに伺えるスピード感と売りっぱなしにはしないメンテナンスの手厚さです。

クリニックス新築工事に伴うサッシ・笠木工事



店舗外観



ありがたいことに昨年創業から100年経過しましたが、地元密着型でお客様に喜んでいただけるよう精一杯取り組んできました。工事後の仕上がりを見て、自分自身が羨ましいと感じるようなクオリティをこれからもお客様にご提供していけるよう精一杯頑張ります！



創業当時の写真と3代目社長が日経ジャーナルに掲載された記事



細井支部長(左)と驚見社長(右)「直接仕事に繋がらなくても会員同士がより気軽に会える機会が増えたら嬉しいですね」とお話ししてくださいました！



細井支部長のおすすめポイント

法人の方はもちろん個人宅の注文も受けてくれますので、住居について気になることがあれば一度ご相談してみたいかがでしょうか。創業100年以上の確かな腕を持つ驚見建具店をぜひご利用ください！

☆概要☆

有限会社 驚見建具店

T E L : 03-3849-0770

時 間 : 9時～18時

定休日 : 土日祝

住 所 : 足立区足立3-29-10

アクセス : 東武スカイツリーライン五反野駅徒歩5分
東京メトロ千代田線綾瀬駅徒歩20分

HPはこちら



タカラ住販(株) 岩田 典子 代表取締役社長

弊社は五反野、梅島を中心に賃貸管理、売買仲介、買取再販を行っている地域密着型の不動産会社になります。

お客様に寄り添う姿勢を大切に、一人ひとりの立場を一緒に考え「笑顔になってもらうこと」が最大のやりがいです。不動産は人生の大きな決断に繋がるものであり、安心してご相談できる存在であるとともに、単に「住まい」を紹介するだけでなく、相続や暮らしにまつわる相談を受けられる“住まいの相談所”を目指しております。



全てタカラ住販で
リフォームした物件例

五反野・梅島エリアは生活の
便利さと都心へのアクセスの
バランスが良く、家賃も抑え
めて幅広い世代におすすめ！

弊社ではファミリー向けの物件をお探しのお客様が約半数を占めており、地域の学校や生活環境を踏まえてご提案しております。

特に五反野は、①東武スカイツリーラインで北千住や浅草までも近く、都心へも通いやすいといった交通アクセスの良さ②スーパー、ドラッグストア、100円ショップなどが駅周辺に充実しており生活利便性が高い③学校や保育園、公園が比較的近くにあり子育て環境も良く、病院やクリニックも点在しておりファミリー層に安心④北千住や綾瀬に比べ家賃や物件価格が抑えめでコストパフォーマンスが良い等々、魅力がいっぱいある町かと思います。



店舗外観 (駅から徒歩1分)

五反野駅



店内の様子

これからも「地域に根差した不動産会社」として、住まいや相続、暮らしのことなど幅広く相談できる場所になれるよう、常に知識の研鑽を忘れない姿勢で精進します。人に寄り添い、笑顔を増やすことを第一に五反野の街と共に成長していきたいです！



岩田社長

法人会の他に五反野商店街のイベントにも参加、役員も務めている。「地域イベントを通じて住人の方々と顔の見える関係を築き、“まちの頼れる不動産屋さん”として活動し、会社はもちろん地元の発展に貢献できたら嬉しいです！」

細井支部長のおすすめポイント

ファミリーはもちろん、一人暮らしを希望する学生さんも何でも相談できる優しい社長さんなので、五反野、梅島、綾瀬、北千住付近で物件をお探しの方はぜひ一度相談してはいかがでしょうか！



☆概要☆

タカラ住販 株式会社

T E L : 03-5681-2301

時 間 : 10時～18時

定休日 : 火、水曜日(祝日営業しております)

住 所 : 足立区中央本町2-27-10-1階

アクセス : 東武スカイツリーライン五反野駅徒歩1分
東京メトロ千代田線綾瀬駅徒歩24分



HPはこちら

A-Festa 2025

今年は千住宿開宿400年
10.11(土) 10.12(日)
10:00~16:00
あだち区民まつり



足立法人会の各ブースの代表担当者に感想を伺ってみました！



資料を配る加島さん

資料配布担当：女性部会副部長
(有)加島解体興業 加島 やす子 様

資料配布ですが、初日はあいにくの雨で、法人会PR資料を配れなかったら2日目に回す予定でしたが、来場者が少ない中でもなんとか配布することができました。2日目は天気がよく大勢の方に来ていただきました。役員の方々2日間お手伝いありがとうございました。

税金クイズ担当：総務委員長
(株)泰成工業所 湯原 誠二 様

「こども税金クイズ（3問）」を実施し、回答してくれた親子に賞品として「うまい棒」を2日間で合計600個プレゼントしました。こどもたちも親御さんも喜んでくれました。しかし今回もクイズが難しかったようで、親御さんが迷うことのないよう、もっと簡単な問題にすることが課題と思いました・・・



雨の中、税金クイズを
してもらってる湯原さん



チーム一丸でヨーヨー作成中！

水ヨーヨー担当：公益事業委員会副委員長
日本鋲螺工機(株) 内藤 康裕 様

開催初日は、あいにくの天気で来場者も少数でしたが、二日目には沢山の子供たちの笑顔が見られました。開催前の準備から会員の方々や事務局の皆さんと楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。皆さん、本当にありがとうございました。



ポップコーンを配る田中さん

ポップコーン担当：青年部会長
(株)末與志商事 田中 健司 様

子供達が、喜んでくれる顔が見れて、すごく良かったです。
先輩や、仲間の呼び込みや声掛けのおかげで大盛況で終わられて感謝です！

スーパーボールすくい担当：公益事業委員長
(有)ヤジマ 矢島 大介 様

今年は参加人数が少なく、また土曜日に雨が降ってしまい、寒い中の開催でしたが、日曜日も含めまして、参加協力いただきました皆様、お疲れさまでした。

日曜日は天気が良かったので、昨年と遜色ないくらいに子供たちと楽しむことが出来ました。土曜日は雨で寒い中での開催でしたので、来場する子供たちは大変少なかったです。それでも足を運んでくれて、夢中で楽しんでいるお子さんの姿を見ると、このイベントに参加してよかったなぁと感じた一日でした。

最後に、ブース前で一生懸命声を出してアピールしてくれた皆さん、スーパーボール以外の

ブースでも頑張ってくれた皆さん、色々と工夫をして裏で支えてくれた事務局の皆さん、両日ご協力をいただきました税務署職員の皆さんありがとうございました。

また来年楽しくやりましょう！



子供にスーパーボールを手渡しする矢島さん

物品販売の収益は足立区育英資金積立基金へ全額寄付し、区内の経済的な理由から修学が困難な学生の支援に役立てております。



11日（上）・12日（下）お手伝い下さった会員と足立税務署職員の皆さん

須貝 麻由の

第4回



「べんべん」三味線物語

三味線の可能性を広げる試み ——「伝統を守るだけでは終わらせない」

～日本一への試練～

津軽三味線日本一決定戦「日本一の部」に挑戦するため、私は“唄付け”の猛特訓に取り組みました。唄付けとは、津軽五大民謡——津軽じょんから節・あいや節・よされ節・小原節・三下り——における三味線伴奏のことです。三味線奏者にとって基礎でありながら奥が深く、一生かけて磨き続ける世界でもあります。

師匠 二代目小田島徳旺と演奏 当時9歳



「一生かけて学ぶものを、どうやって1年で習得すればいいのか」。そんな不安を抱きながら、師匠と二人三脚の稽古が始まりました。

大会では、当日くじ引きで演奏曲が決まるため、5曲すべてに対応する必要があります。

まずは師匠の演奏を聴いて真似るところから始め、節まわしの違いやリズムの変化を身体に叩き込む日々。民謡歌手の先生にも指導をいただき、唄の個性ごとに変化する伴奏表現を学びました。できない自分が悔しくて、涙を流したことも何度もありました。がむしゃらに弾いてきたこれまでとは違い、「初めて挫折を味わった」と感じる経験でした。それでも日本一を目指す以上、やるしかありません。



～称号の重みと歩き続ける日々～

毎日練習を重ね、2014年5月——高校2年生の春に、ついに「日本一の部」で最年少優勝を果たすことができました。正直、まだ優勝は難しいと思っていたのが本音ですが、自信のあった曲弾きで高い評価をいただいたことが後押しとなり、夢だった日本一の称号をいただくことができました。

喜びと同時に、肩の荷が下りた安心感からか、大会翌日の優勝者演奏の前に39度の高熱が出ました。「体調が悪くても舞台は空けられない」——そんな演奏者としての責任を改めて実感しました。

そして日本一をいただいてからも、道は平坦ではありませんでした。

まだまだ演奏も未熟でしたし、SNS上での心ない言葉もありました。嬉しさと同時に、肩書きの重みも感じるようになった時期でした。

今振り返れば、学生時代のほとんどを三味線と全国大会に捧げてきたと思います。でも、それこそが今の自分の土台になっていることも、確かに感じています。



～三味線の音を、もっと自由に～

これまでお話ししてきたのは、民謡や曲弾きといった三味線の「伝統」の部分。

現在はその原点を大切にしながら、現代的なアレンジにも挑戦しています。

「三味線って難しそう」「聴いたことがない」という声も少なくない中で、もっと身近に、もっと自由に三味線の音を届けたい——そう思うようになったのです。

例えば、弦を2～3本同時に押さえてギターのようなコード演奏をすることもあれば、フレットのない構造を活かして、西洋楽器では出せない“音の間”を表現することもできます。

コラム 三味線の楽譜

三味線は、楽譜からして独特です。三本の弦に合わせた“三線”で書かれ、指を置く勘所は音符ではなく数字で表します。さらに曲ごとに調弦が変わり、〈①二上り ②本調子 ③三下り〉の指定が譜面に必ず記載。仕組みが西洋と違うから、同じ指でも響きがガラリ——それが三味線の面白さです。



須貝麻由 プロフィール

祖父母と姉の影響で5歳から津軽三味線を始め、二代目小田島徳旺氏に師事。小学生の頃より全国大会で優勝を重ね、2014年には、津軽三味線日本一決定戦の最高峰『日本一の部』を当時最年少16歳で制覇。小学2年生生では津軽手踊り東京大会でも優勝。現在は姉とのユニット『津軽三味線姉妹ユニットまゆかり』でも活動の幅を広げている。

法人会インフォメーション

支部活動報告

- **第13支部** 税務研修会・役員会
開催日：9月3日（水）
場 所：(株)聡建
参 加：17名・13名
- **第10・11支部** 税務研修会
開催日：9月17日（水）
場 所：東京都トラック協会 足立支部
参 加：22名
- **第9支部** 税務研修会・役員会
開催日：9月19日（金）
場 所：青木信用金庫 足立支店
・はなの舞 足立六町店
参 加：14名・14名



- **第8支部** 役員会
開催日：10月7日（火）
場 所：足立成和信用金庫 亀有駅前支店
参 加：8名



- **第10・11支部** 役員会
開催日：10月9日（木）
場 所：松鈴
参 加：17名



第26回 足立凧まつり

10月4日（土）第26回足立凧まつりに、こども税金クイズと大凧から飴玉を落下傘のように落とすキャンディーシャワーで参加しました。朝方は青空が広がっていたのですが、時間が経つにつれ雲行きが怪しくなり、キャンディーシャワーを3、4回行った段階で小雨が降り始めてしまいました。

雨の影響で子どもの参加数が少なかったのですが、税金クイズも当初は苦戦していましたが、通りがかりの親子に呼び込みを行い、おおよそ100名程度で参加いただけました。

▼OB諸先輩と部会員の集合写真



昨年が開催自体中止となりましたので、今年は土手に集まって子どもたちの為に汗を流せたのは良かったです。しかし、天気の影響で不完全燃焼に終わってしまったので、来年こそは青空の下で大凧が揚げられるようになればと期待をしています。
（参加17名 担当副部会長 渡辺 隆之）

表彰式にて金賞を授与する
田中部会長



青年部会&女性部会

合同税務研修会・署との意見交換会

9月17日（水）足立法人会館にて、青年部会・女性部会合同の「税務研修会」「足立税務署との意見交換会」を開催しました。

第1部の税務研修会では、足立税務署の山田統括を講師としてお招きし、『税務行政の現状』をテーマに、財政や税制、国税庁の最新の取り組みについてご説明いただきました。



税務研修会の様子

第2部の意見交換会では、木村署長から女性部会の社会貢献活動への協力として、署内で集めた使用済み切手・書き損じはがきを寄贈していただきました。今回頂戴した使用済み切手・はがき寄贈の様子（右）と牛島部会長（左）切手とはがきは、年度末に日本ユネスコ協会連盟と世界の子供にワクチンを日本委員会に寄付いたします。

税務署職員の方と交流を深める行事は、法人会ならではのもので、部会員にとっても非常に有意義な時間になったと思います。ご参加ありがとうございました。
（参加26名 青年部会 担当副部会長 中田 洋輔）



使用済み切手・はがき寄贈の様子
木村税務署長（右）と牛島部会長（左）

健康を応援する

第133回

『老眼が気になったら空を見よう』

～Dr.クラとIさんの健康小話～

葛飾健診センター長
吉原 一郎 先生

- Iさん：なんかこの頃、近くが見えづらくて～これが老眼か～
Dr.クラ：老眼は40代後半になると自覚する人が増える。レンズの役目の水晶体が硬くなったり、調節に関わる毛様体筋の疲労、衰えが原因だね。
Iさん：老眼鏡かけたくない（汗）
Dr.クラ：スマホのような近くの見過ぎは避けないと。
Iさん：むしろ近くしか見てません（涙）
Dr.クラ：水晶体の厚さを調節している毛様体筋は文字通り筋肉だから、動かすことでトレーニングになるよ。
Iさん：筋トレ？
Dr.クラ：1日に何回か空を見よう！
それなるべく遠くを見たり、近くを見たり。
Iさん：なるほど～それが目の筋トレですね。
Dr.クラ：Iさんはいつも現実逃避で遠い目をしてるけどね～（笑）
Iさん：そうきたか～（笑）

説明会・研修会等ご案内

〈月例研修会〉◎法人税を学ぶセミナー

開催日	時 間	会 場	テーマ
2025年12月10日 水	10：00～12：00	足立法人会館 3階会議室	知っておいて損はない税金講座 正しい知識が税を少なく
2025年12月11日 木	13：30～15：30		
2026年1月13日 火	10：00～12：00		申告ミスをなくそう 会社税務のミス事例
2026年1月14日 水	13：30～15：30		

※月例研修会参加費無料（初回のみ、テキスト代として会員1,000円、一般参加者2,000円の負担あり）
※4月より実施しておりますが、基本的にオムニバス形式のため途中参加でも問題ございません。

2025年度月例研修会のテキスト ▶



〈決算法人説明会〉◎決算を前にした会社のために

開催日	時 間	会 場	対 象
2025年11月18日 火	13：30～16：00	足立税務署4階会議室	11月決算
2025年12月2日 火			12月決算

〈新設法人説明会〉◎新しく会社を設立した方は

開催日	時 間	会 場	対 象
2026年2月3日 火	13：30～16：20	足立法人会館3階会議室	新設法人

※足立法人会館 3階会議室 住所：足立区千住中居町25-7 TEL.3881-0326
※足立税務署 4階会議室 住所：足立区千住旭町4-21 TEL.3870-8911（内線212）

11月のテーマ「七五三」に多数のお申し込み有り難うございました。
広報委員会・選考で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。
次回も奮ってご参加下さい。

嫌がる子 飴でなだめて 無事撮影 (じじ)

晴れがましいスタジオ撮影など、嫌で逃げ出したかった。千歳飴で
宥める親のために、我慢して終えたっけ。

子どもより 大人がはしゃぐ 七五三 (菊の花)

この日の親たちの燥ぎ^{はしど}ようはなかった。この気持ちは親になつて初めて
分かった気がします。

七五三 娘レンタル 母新調 (ツグミ)

普段は衣装など新調できにくい母が、着物を新調したうれしさ。
私はレンタルで十分でした。

待ち受けの あの日のパパっ子 今いずこ (大阪慕情)

パパの大好きだった子は、今はどこにいるか？でもあの日、親子の絆は、
固く結ばれたのです。

娘より 気合が入る 祖父母たち (部長課長)

孫は娘たちよりもかわいい！祖父母にとって、孫は最も血のつなが
りが濃い身近な関係なのです。

『総評』

七五三とは子供のすやかな成長を祝う昔からの行事です。どなたも幼児のころ
に一度は経験してきたから、記憶のある方が多いと思います。男児は三歳と五歳
に女児は三歳と七歳に行うのが通常のやり方です。親にとっては何より嬉しい慶
事で、三代そろった家庭では祖父母も一緒に祝うので、家族にとっても嬉しい行
事です。作品には手放しで喜ぶ老夫婦が詠み込まれています。更に成長して、昔
は男児の袴着式や、成人式など、大人として成長するまでには、階段を踏んで祝
時があったのです。

行きずりの よそのよき子の 七五三 (風生)

(公益秋穂字編『歳時記』より)

めでたさも 奥ゆかしくも 七五三 (藤袴)

1月号のテーマ

【一番】

「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む
口語の定型詩です。口語以外の言葉を用
いることもあります。俳句と違い、季語
を用いる必要はありません。テーマの言葉
を入れる必要はありません。

お一人様、二句まで、ハガキ
又は、FAXで投句

※句掲載の方には、
クオカード(一、〇〇〇円分)
を差し上げます。

締切

十一月二十八日(金)まで

投句先

〒二〇一〇〇三五

足立区千住中居町二十五―七
FAX 三八七九―三五四〇
(公社)足立法人会 川柳係へ
お寄せください。

〈選考・コメンテーター紹介〉

秋庭 隆(あきば・たかし)

戦後18年間、足立区に居住。
現在、「東海道ネットワーク
の会21」顧問(藤沢市在住)。

あ と が き

「金を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上」――後藤新平
の言葉ですが、小生、金すら残せず、一年が暮れていきます。さて
来年は、何か残せる年にできるでしょうか。

この1年間ご愛読いただきありがとうございました。どうぞ
皆さま、良いお年をお迎えください。

(柳広報委員長)

公益社団法人
足立法人会報
第298号 (通巻360)
令和7年11月1日発行
発行所
公益社団法人 足立法人会
足立区千住中居町25-7
電話 (3881) 0326
メールアドレス
koueki@adachi-houjinkai.or.jp
編集人
広報委員会